

2017年度 事業報告書[法人第5期]

(2017年10月1日～2018年9月30日)

1. 庶務報告

i) 会員数 (2018年9月30日現在)

正会員 1,644 / 名誉会員 13 / 顧問 35 / 賛助会員 13 (合計 1,705)

ii) 会議開催実績

2017年度 定例理事会

第1回 2017年10月24日 (AP品川 9階「P+Qルーム」)

第2回 2017年12月1日 (京王プラザホテル札幌 2階「ローズルーム」)

第3回 2018年6月14日 (AP品川 7階「Wルーム」)

第4回 2018年9月7日 (AP品川 9階「P+Qルーム」)

第4回 定例幹事会

2017年12月1日 (京王プラザホテル札幌 2階「ローズルーム」)

第4回 定時社員総会・表彰式

2017年12月2日 (京王プラザホテル札幌 2階「エミネンスホールA (第1会場)」)

学会誌編集委員会

2017年12月1日 (京王プラザホテル札幌 2階「クローバールーム」)

ガイドライン委員会

2017年12月1日 (京王プラザホテル札幌 2階「クローバールーム」)

2018年6月14日 (AP品川 7階「Wルーム」)

認定制度委員会

2018年7月8日 (AP品川 9階「Rルーム」)

梅毒委員会

2017年12月2日 (京王プラザホテル札幌 4階「カトレア」)

教育啓発委員会

2017年12月2日 (京王プラザホテル札幌 4階「カトレア」)

2018年3月3日 (AP東京八重洲通り 7階「Tルーム」)

2018年7月8日 (AP品川 9階「Rルーム」)

第31回学術大会プログラム委員会

2017年12月1日 (京王プラザホテル札幌 2階「ローズルーム」)

第32回学術大会プログラム委員会

2018年6月14日 (AP品川 7階「Wルーム」)

2018年9月7日 (AP品川 9階「P+Qルーム」)

2. 年次学術大会

日本性感染症学会 第30回学術大会

会 期：2017年12月2日(土)～3日(日)

会 場：京王プラザホテル札幌

会 長：高橋 聡 (札幌医科大学医学部 感染制御・臨床検査医学講座 教授)

参加人数：611名 (医師・医療従事者・企業 527、学部学生・大学院生・初期研修医 32、招待者 52)

プログラム：特別講演1題、招請講演1題、教育講演4題、

日本エイズ学会ジョイントシンポジウム3題(卒後・生涯学習プログラム 対象)、

シンポジウム3題(卒後・生涯学習プログラム 対象)、教育シンポジウム2題(卒後・生涯学習プログラム 対象)、

ランチョンセミナー6企画、イブニングセミナー3企画、モーニングセミナー3企画、

認定士への集い、一般演題74題

閉会後開催：第272回ICD講習会

3. 学会誌「日本性感染症学会誌」発行

第28巻第2号：2017年11月発行 (第30回学術大会 抄録号：第30回会長担当)

第29巻第1号：2018年9月発行 (通常号：学会誌編集委員会担当)

4. 各委員会活動

- i) 学会誌編集委員会 (出口 隆 委員長 → 安田 満 新委員長)
委員会の開催 (2017年12月1日:京王プラザホテル札幌 2階「クローバールーム」)
日本性感染症学会誌 第29巻第1号発刊(電子版のみ)
学会ホームページへバックナンバー電子版アーカイブ化
学会誌投稿規定の改定
原稿投稿時提出書類へ「倫理面への配慮」の書類追加
- ii) ガイドライン委員会 (清田 浩 委員長)
「性感染症 診断・治療ガイドライン 2019(仮称)」の公開に向けての編集作業を実施 (2019年春頃 公開予定)
- iii) 利益相反委員会 (清田 浩 委員長)
COI 自己申告書提出対象者への提出依頼および回収の実施。
「医学研究の利益相反に関する指針」および「COI 自己申告書」の改定 (2019年1月1日改定および施行予定)
- iv) 倫理委員会 (高橋 聡 委員長)
倫理委員会規程の施行 (2018年1月1日施行)
- v) 学術奨励賞選考委員会 (三嶋 廣繁 委員長)
日本性感染症学会誌第29巻第1号に掲載論文の中から2017年度学術奨励賞受賞者を以下2名とし、2018年11月24日 第5回定時社員総会の表彰式において賞状楯および副賞(15万円×2名)の目録を授与。
なお、副賞総額30万円のうち10万円は公益社団法人 性の健康医科学財団より寄附。
 - ・花岡 希 (国立感染症研究所 感染症疫学センター)
「アデノウイルス尿道炎の診断におけるイムノクロマト法を用いた迅速診断キットの有用性の検討」
 - ・金坂 伊須萌 (東邦大学看護学部 感染制御学)
「関東地方において分離された Neisseria gonorrhoeae に対する各種抗菌薬感受性推移および第3世代セフェム耐性化に関する検討」学術奨励賞規約の改定 (2018年11月24日改定予定)
- vi) 認定制度委員会 (石地 尚興 委員長代行)
委員会の開催 (2018年7月8日 AP品川 9階「Rルーム」)
認定試験の実施 (2018年7月8日 AP品川 9階「P+Qルーム」)
2017年度認定医試験・認定士試験および更新申請書類審査結果

新規	認定医試験 受験者 22名	／	認定士試験 受験者 1名	(受験者全員合格)
			[認定医] / [認定士]	
更新	資格更新対象者	49名	／	8名
	更新申請書類 提出	42名	／	5名 (全員更新承認)
	更新延期願 提出	6名	／	1名 (全員更新延期承認)
	更新辞退	0名	／	2名
	資格喪失(未提出により)	1名	／	0名

認定制度規則の改定 (2018年11月24日改定予定)
認定制度施行細則の改定 (2018年11月24日改定予定)
認定士の名称変更についての検討
認定士資格取得者へのアンケート
- vii) 梅毒委員会 (石地 尚興 委員長)
委員会の開催 (2017年12月2日:京王プラザホテル札幌 4階「カトレア」)
学会における梅毒関連業務の対応
梅毒診療ガイド作成小委員会にて一般医家向け「梅毒診療ガイド」の作成および学会ホームページ上での公開
- viii) 教育啓発委員会 (白井 千香 委員長)
スマートフォン対応「予防啓発スライド(中高生向け)」の掲載
「(QA集)大人が子どもから聞かれたら答えられるような性感染症関連の回答集」のスマートフォン対応のWebページ掲載準備
日本学校保健会発行「教職員のための指導の手引～UPDATE!エイズ・性感染症」への協力
- ix) 国際渉外委員会 (瀧砂 良一 委員長)
会員へ IUSTI Asia Pacific Sexual Health Congress 2018 の開催案内メールの配信
関連国際学会との連携対応
- x) 会則検討委員会 (高橋 聡 委員長)
定款および各規則の内容の精査および改定案の作成
定款施行細則の作成 (2018年11月24日制定予定)

- xi) 広報・ホームページ委員会 (出口 隆 委員長 → 大西 真 新委員長)
学会ホームページにてマイページ機能の運用開始
学会ホームページにて電子版学会誌バックナンバーの掲載開始
広報およびホームページ関連業務を対応
- xii) 支部の在り方検討委員会 (高橋 聡 委員長)
支部運営の状況把握と見直しの検討
- xiii) Stop!梅毒プロジェクト委員会 (荒川 創一 委員長)
委員会の新設
学会ホームページ上に「ストップ!梅毒」ページを掲載 (日本性感染症学会・日本感染症学会・日本化学療法学会・日本環境感染学会・日本臨床微生物学会の5学会にてプロジェクト発足)

5. 関連学術団体との連絡・協力

- i) 日本性科学連合[JFS]
2018年9月22日 第19回日本性科学連合 性科学セミナー (石地 尚興 理事 講演)
- ii) 健やか親子21推進協議会
2018年2月28日テーマグループ4会議および総会 (野々山 未希子 代議員 出席)
- iii) ICD制度協議会
2017年度 ICD申請者9名 (2017年10月末日提出締切)
2018年度も10月末日提出締切とし、2名分の申請書類を受付。
2017年12月3日 第272回ICD講習会 (第30回学術大会終了後 同会場にて開催)
- iv) 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会
2017年7月13日総会 (白井 千香 理事 出席)
- v) 日本思春期学会
日本思春期学会との連携対応
2018年8月17日～19日 第37回日本思春期学会 総会・学術大会 (会長: 古谷 健一)
- vi) 日本エイズ学会
合同シンポジウムの開催 (日本性感染症学会 第31回学術大会[京王プラザホテル札幌]にて)
日 時: 2017年12月2日 14:05-15:35
テ マ: HIV/syphilis in Asia -What is the effective measures against the epidemics?
座 長: Shinich Oka (National Center for Global Health and Medicine, AIDS Clinical Center)
演 者: Naoko Ishikawa (HIV, Hepatitis, and Sexually Transmitted Infections Unit, Division of Communicable Diseases
World Health Organization Regional Office for the Western Pacific)
Davaalkham Jagdagsuren (AIDS/STI Surveillance and Research Department National Center for Communicable
Disease, Ulaan Baatar, Mongolia)
Daisuke Mizushima (National Center for Global Health and Medicine, AIDS Clinical Center)
※ 2018年は日本エイズ学会 学術集会・総会において合同シンポジウムを開催
※ 日本性感染症学会 学術大会において合同シンポジウムの次回の開催予定は2019年の第32回(京都)にて開催予定

6. 各支部の活動

関東甲信越支部以外の7支部において、支部総会を開催。
各支部の事務局情報は学会ホームページ参照。

7. その他

- 1) 梅毒血清反応検査に関するワーキンググループ会議
(日本感染症学会、日本化学療法学会、日本エイズ学会、日本臨床検査医学会、日本環境感染学会、日本臨床微生物学会、日本性感染症学会の合同委員会)
2018年2月24日 グランドプリンスホテル新高輪国際館(パミール1階「黄玉」)にて会議を開催。
本学会から荒川創一 理事長、石地尚興 副理事長、三嶋廣繁 副理事長が出席。
- 2) 日本医学会
2018年7月30日 加盟申請書類提出。(審査の結果は2019年2月開催の日本医学会 定例評議委員会において判明予定)
- 3) 性感染症に関する特定感染症予防指針に基づく対策の推進に関する研究
2017(平成29)年度 総括・分担研究報告書、総合報告書のWeb ページへのリンクを学会ホームページに掲載